

交流プログラムに参加したアジア・太平洋諸国で活躍する女性記者

「令和元年度 アジア・太平洋輝く女性の交流事業」は、日本から 13 名、アジア・太平洋諸国から 20 名のメディア業界で活躍する女性記者を招聘し、3 日間の交流プログラムを実施した。招聘者の国と所属先の分野は以下のとおりである。

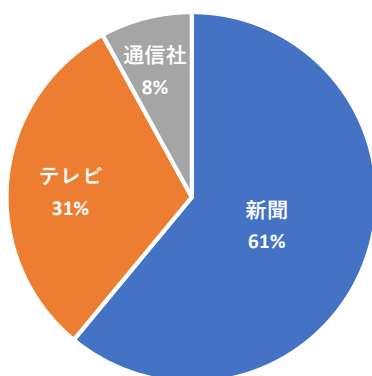
国	所属先の分野
日本	新聞社（8 名） テレビ局（4 名） 通信社（1 名）
インド	新聞社（2 名）
インドネシア	新聞社（1 名） インターネットメディア（1 名）
韓国	新聞社（2 名）
シンガポール	新聞社（1 名）
タイ	新聞社（1 名） テレビ局（1 名）
中国	テレビ局（1 名）
フィリピン	新聞社（2 名）
ベトナム	新聞社（1 名） その他メディア（1 名）
マレーシア	新聞社（2 名）
オーストラリア	新聞社（2 名）
ニュージーランド	テレビ局（1 名） インターネットメディア（1 名）

※参加した女性記者は、以下「プログラム参加者」という。

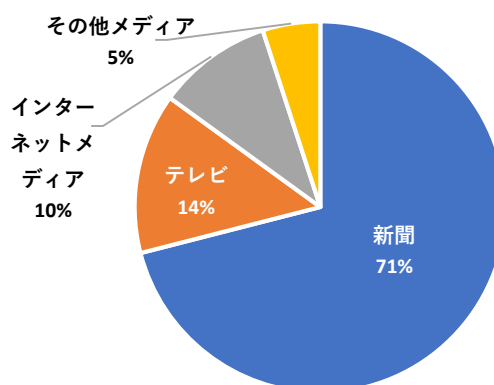
プログラム参加者事前アンケート結果

日本・海外からの参加者の多くは、いずれも就業年数が5年～20年以上と幅広く、年齢層としては20代～50代であるが、中でも30代～40代の割合が多かった。所属先は、新聞社である割合が多数を占め、管理職レベルの役職に就く参加者の比率は海外が上回った。これまで取組んできた主なテーマは、日本・海外からのいずれの参加者も政治や社会である。

○所属先のメディア媒体

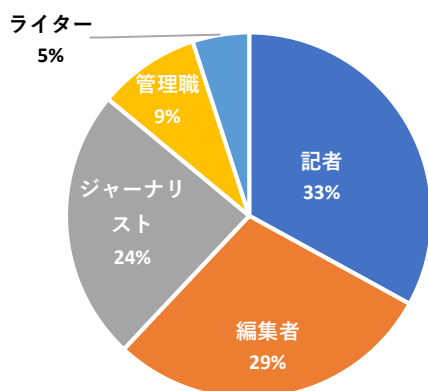


日本からの参加者

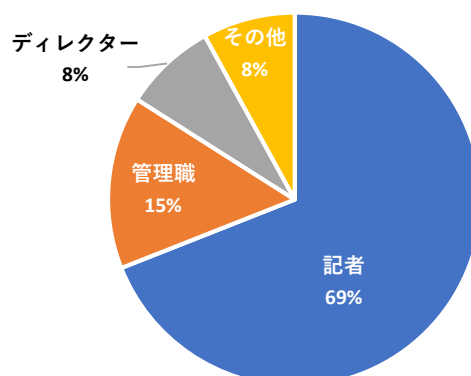


海外からの参加者

○役職（肩書）

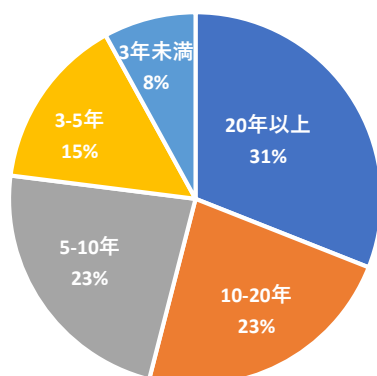


日本からの参加者

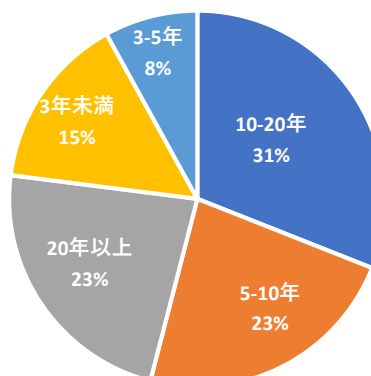


海外からの参加者

○メディア業界での就業年数

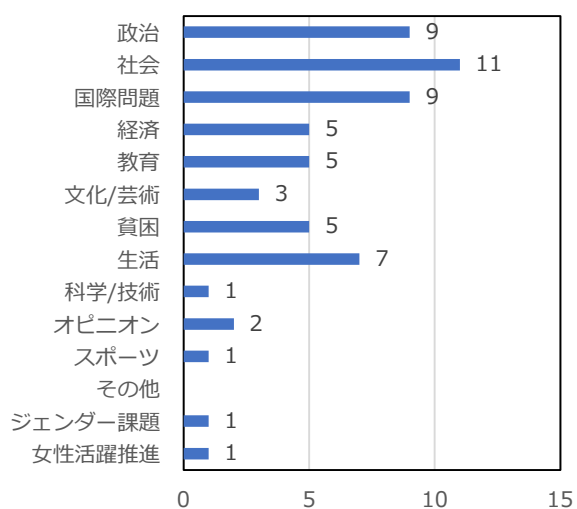


日本からの参加者

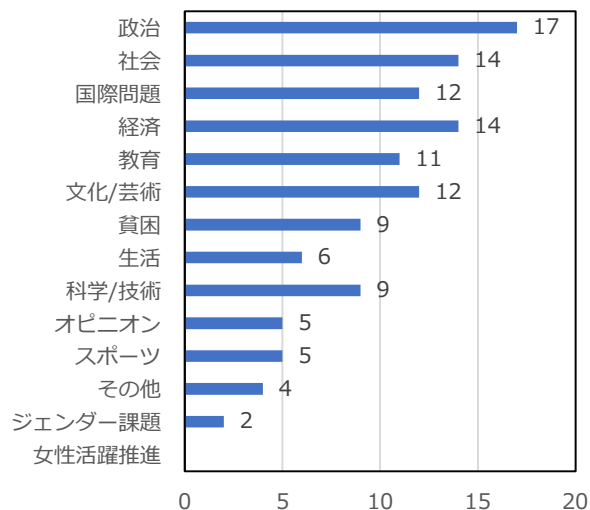


海外からの参加者

○これまで取組んできたテーマ（複数回答）

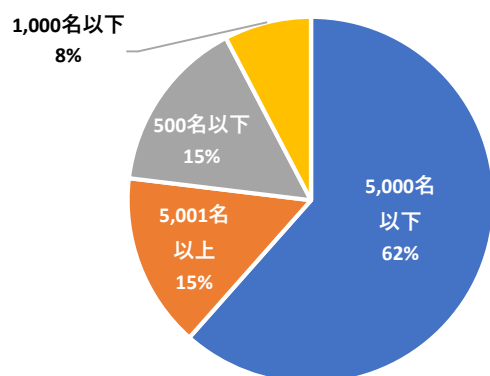


日本からの参加者

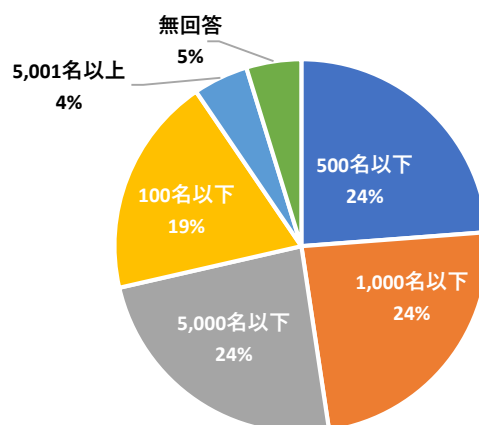


海外からの参加者

○所属先の従業員数

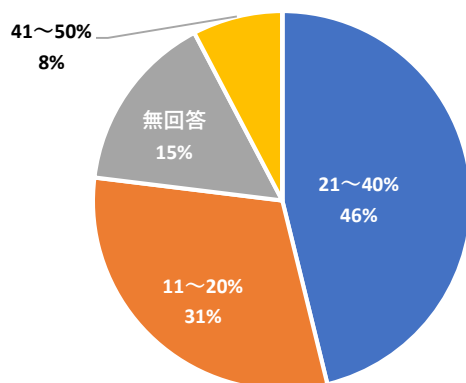


日本からの参加者

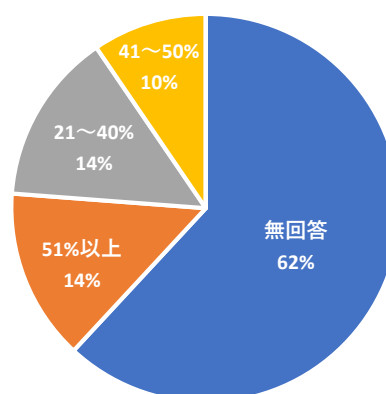


海外からの参加者

○所属先における女性管理職の比率



日本からの参加者



海外からの参加者